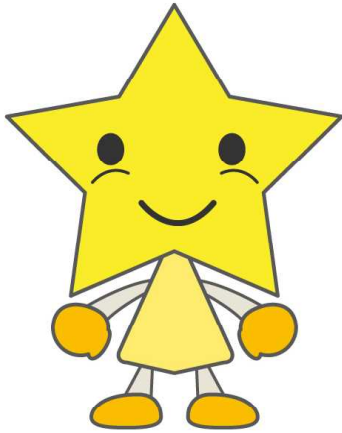


## 鶴中生のみなさんへのメッセージ

～ 星のつぶやき ☆☆ ～



鶴嶺中学校の生徒のみなさん、この1か月間、本当にお疲れさまでした。毎日の検温やマスクでの生活、制限された内容での授業、休み時間や6月22日（月）から徐々に再開された部活動等、みなさん本当によく我慢しながら行っていることを痛切に感じます。

仲間と一緒にになって騒いだり、お昼休みにグラウンドで汗を流して遊んだり、放課後になって部の仲間と最後の大会を目指して必死になって練習したり…。そんなあたりまえの中学校生活を送らせてあげられないことが、とても残念です。

4月6日の学校だよりの裏面に、「我慢と工夫」がキーワードだと書きましたが我慢もこう長く続くと、人間はやや少し後ろ向きになってしまうことを先生も感じています。ただ、工夫だけは今後も続けていこうと思っています。

あの文を読んだ何人かの人から反響<sup>はんきょう</sup>をいただきました。そのうちのひとつめは、ある3年生の学級のノートからです。

「今日の夜 僕は校長先生に言われた通り『料理』にチャレンジするつもりです。『鮭のホイル焼き』をつくるのでがんばりたいです（4月7日）」… 学級担任の先生から教えてもらい、とても嬉しい気持ちになりました。鮭のホイル焼きを振る舞われた家族は最高の気分だったでしょうね！是非、他の料理にもチャレンジしてください。私からのワンポイントアドバイス。料理をおいしくする秘訣<sup>ひけつ</sup>のひとつは、作りながら「美味しくなあれ！ 美味しくなあれ！」とつぶやくことです。チャレンジしてみてください。

ふたつめは、職員の家族からです。家に帰って成人している娘さんに、学校だよりの内容にあった「家にある本を読み返すこと」をすすめたそうです。娘さんはそれを実践してくれたそうで、その感想は「学生時代に読んだ時とはまた違う感じ方をした。」だったそうです。とても嬉しい反響でした。

私も今回のコロナウイルス感染騒ぎの中で、愛読書である「天国までの百マイル」の何度目かの読み返しをしました。とても元気が出ました。

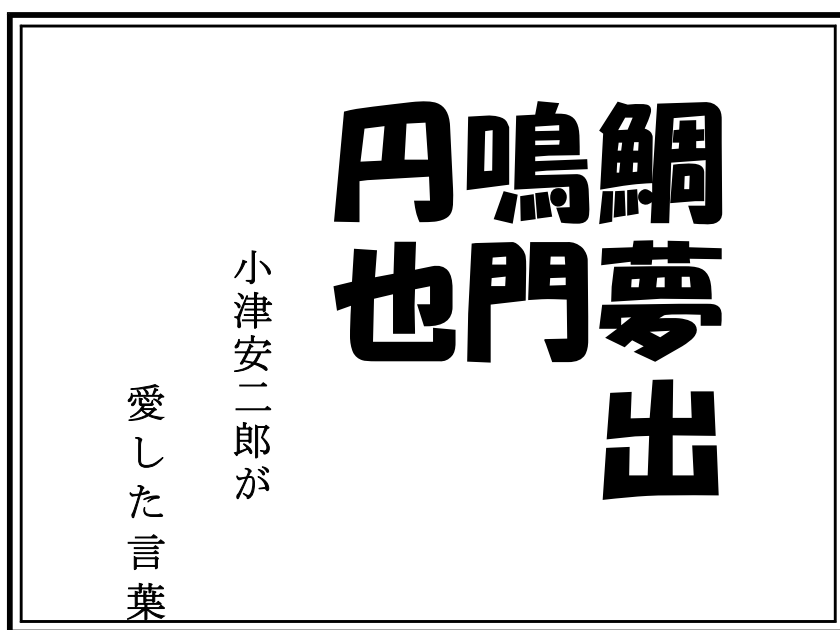
一度見学に行きたい実在の病院がモデルになっていて、今回のコロナウイルス対応でも奮闘しているようです。

さて、今日から7月です。この7月を乗り切れば夏休みとなります。例年より11日後に始まる夏休みまであとひと踏ん張りです！

3年生の運動部や文化部の皆さんには、激励会や最後の大会・コンクールの場を提供することができないことは本当に残念ですし、胸が痛い。この1か月間、今まで積み重ねてきたことに加えて、毎回の練習の中、ひとつのプレーや演奏等、仲間との貴重な時間に思いを込めて部活動を楽しんでください。

“生徒ファースト”、“下級生ファースト”これが鶴嶺中学校に伝わる伝統です。でも、今回だけは、『3年生にもファースト！！』と言わせてください。わずかな期間ですが、仮入部の1年生や後を託す2年生との貴重な活動を堪能してほしいと思います。

最後に、茅ヶ崎ゆかりの小津安二郎という映画監督（茅ヶ崎館という旅館を定宿にして、脚本を書いていたそうです。）が好んで色紙に書いた言葉を全校生徒のみなさんに贈ります。



「鯛の夢、鳴門より出でて、円なり」…と読むのではありません。

「Time is not money(タイム イズ ノット マネー)」と読みます。これは「時は金ならず」…つまり「時間はお金で買えない」という意味です。時間には、いつも限りがあります。

鶴中生らしい、3年生運動部員のみなさんの活動を締めくくる、最高の7月にしてください！そして、仮入部する1年生にとっても、次の鶴中を背負う2年生にとっても、よい7月でありますように！！